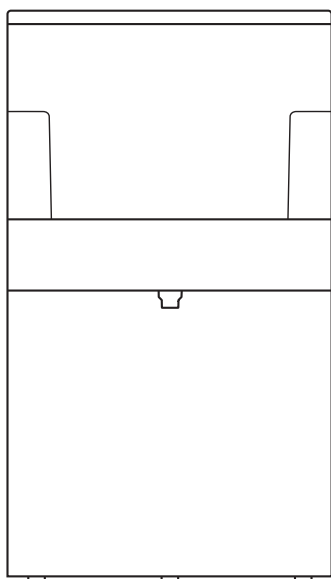


取扱説明書（詳細版）

浄水型ウォーターサーバー 家庭用

品番 TK-RSS1



もくじ

確認

安全上のご注意	P.2
ご使用上のお願い	P.6
各部のなまえとはたらき	P.7

設置

取付1 本体を確認する	P.9
取付2 本体を設置する	P.9
取付3 設置後の確認をする	P.11

使いかた

使いかた	P.13
------------	------

お手入れ・交換

お手入れ	P.15
カートリッジの交換	P.16

必要なとき

停電したとき	P.18
長期間使わないとき	P.18
返却するとき	P.19
こんなランプ表示のときには	P.20
よくあるご質問	P.21
交換を依頼される前に	P.22
別売品	P.24
仕様	P.25

このたびは、パナソニック製品をご契約いただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2～5ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
--	-----------------------	---	----------------------------------

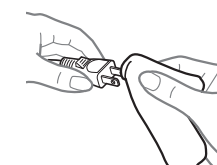
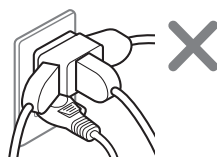
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
---	--

警告

電源プラグやコードは

-  ● コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)
(感電・短絡・発火の原因)
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
・ステープル (📌) などで固定する ・傷つける ・加工する ・無理に曲げる ・ねじる
・引っ張る ・熱器具に近づける ・重いものを載せる ・束ねる ・挟み込む ・踏みつける など
(感電・ショートによる火災の原因)
➔ カスタマーセンターにご相談ください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない (感電の原因)
- 延長コードは使用しない (火災の原因)
-  ● 定格 15 A、交流 100 V のコンセントを単独で使用する
● 海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。 (火災の原因)
- 電源プラグは、根元まで確実に差し込む
● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。 (発煙・発火・感電の原因)
- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く
(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因)
➔ 電源プラグを抜き、乾いた布でふく
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く
(感電・短絡・発火の原因)



異常・故障時には

-  ● 直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く (発煙・発火・感電・けがの原因)
＜異常・故障例＞
 - 本体内部や吐水口からの水漏れ、周辺に水が溜まる
 - 本体内部から煙が出る
 - 異常音が発生している
 - 本体が異常に熱くなったり、変形している
 - 電源コードやプラグの損傷➔ すぐにカスタマーセンターに交換を依頼してください。

警告

設置場所について

-  ● 直射日光の当たる場所、コンロなど高温になる場所には設置しない
(機能の低下・漏電・水質の悪化・異味・異臭、体調に悪影響を及ぼす原因)
- ほこりの多い場所には設置しない
- 火気、引火性物質の近くには設置しない
- ガス漏れの可能性がある場所や電熱器の近くに設置しない
- 本体の上に電気オープン・トースターなどの電熱器を載せて使わない
(感電・火災・故障の原因)
- 本体の上に水や液体の入った容器・金属類・可燃物などを置かない
(火災・損傷の原因)
-  ● アースを確実に取り付ける (故障や漏電のときに感電の原因)
アース線は
 - アース端子に接続する
また、転居などの際も忘れずに取り付ける (P.6)
 - ガス管や水道管、電話や避雷針のアースなどと、絶対に接続しない
(法令で禁止されています)。
 - アース端子がないとき、湿気が多い場所、水けのある場所では、アース工事が必要です。
- 給水タンクを設置するときには、本体内部に水が入らないように注意する
(火災・感電・故障の原因)

お使いのとき

-  ● 本体の近くで可燃性スプレーを使わない (引火して火災の原因)
- 稼働中に本体を移動したり、電源コードを引っ張らない (感電・水漏れの原因)
- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児に触れさせたりしない
(感電・けが・やけどの原因)
-  ● 給水タンクに水を入れる際は、電源プラグに水がかからないように注意する
(故障・感電の原因)
- 温水は、高温のため触れないように注意する
(やけどの原因)

お手入れについて

-  ● 本体や電源プラグに水をかけたり、水洗いしない
(漏電や短絡を起こし、感電・火災・故障の原因)
-  ● お手入れをする際は、電源プラグをコンセントから抜く
(感電・火災の原因)

次の点もご注意ください

-  ● 分解したり、修理・改造しない
(火災・感電の原因)
➔ 故障の際はカスタマーセンターにご相談ください。
- 飲用に合格した水道水以外は使用しない
(体調を損なう原因)
 - 殺菌能力がなく、除去できる物質 (浄水能力 P.25) 以外の有害物質は除去できません。
- この製品を使用しなくなった場合は、P.19 の手順を行い、カスタマーセンターに返却の依頼をしてください
(本体が転倒・落下し、けがの原因)

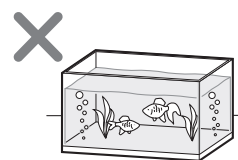


注意

飲用・使用できない浄水の用途について



- 浄水は、魚やペットなどの飼育水に使用しない
(環境が変わり、魚などが死ぬ原因)



- 毎日の使い始めは、温水・冷水ともに約0.5リットル(約30秒間)通水後に使用する
(本体内部のたまり水を使うと、体調を損なう原因)

浄水の保存について



- 浄水は生成後すみやかに使う
くみ置きする場合は、清潔な密閉容器に入れて、1日以内に使う
(殺菌剤(カルキなど)が除去されているため、水が変質し、体調を損なう原因)

設置場所について



- 吐水口をふさいだり、他のホースや器具を接続しない
(水漏れの原因)
- 本体の上に物を置いたり、乗ったり、傾けたり、ゆすったりしない
(やけど・故障の原因)
- 屋外に設置しない
(感電・故障の原因)
- 風雨にさらされる場所・浴室など水や蒸気がかかる場所には設置しない
(漏電時に感電する原因)
- じゅうたん、たたみ、塩化ビニール製床材、クッションなどの上に設置しない
(転倒によるけが、感電、火災、故障の原因)
- 本体のまわりに水に弱い物を置かない(電子機器・時計・革製品・書籍など)
(置いた物の破損・故障の原因)



- 本体は平らな場所に設置する
(本体が転倒し、けがの原因)
- 本体の側面・背面から約10 cm以上隙間を設けて設置する(P.9)
(発熱・故障の原因)
- 周辺温度が5℃～35℃以下の場所に設置する
 - 環境温度によって、吐水が適温にならない場合があります。
(適温: 温水 80℃以上、冷水 10℃以下)
(部品の破損・水漏れ・故障の原因)



注意

お手入れについて



- シンナー・ベンジン・塩素系・酸性タイプの洗剤を使用しない
(ひび割れ・感電・引火・有害ガス発生の原因)
- スチームクリーナー・食器洗浄機・食器乾燥機を使用しない
(キズ・割れ・変形・変色・故障の原因)

使う人について



- 幼児や乳幼児にウォーターサーバーの操作方法を見せたり、触らせたり、近づけたりしない
- この機器は家庭用です。不特定多数が使用される環境では使用しない
(事故やけどの原因)



- この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で機器を用いないようにする
- この機器で遊ぶことがないように、子供を監視する
(事故やけがの原因)

次の点もご注意ください



- 吐水を終了する際は、水が完全に止まるまでコップ等を外さない
(温水の場合、やけどの原因)
- ガラスのコップに温水を注がない
(コップが破損しけがの原因)
- 本体底面の排水キャップ部分を触らない
(水漏れややけどの原因)



- 長期間(約1週間以上)使用しない場合は、電源プラグを抜いて、給水タンクの水を捨てる
使い始めは、温水・冷水ともに約1.2リットル(約1分間)通水後に使用する
(水質の悪化・異味・異臭、体調に悪影響を及ぼす原因、感電・火災の原因)

ご使用上のお願い

使用できない水

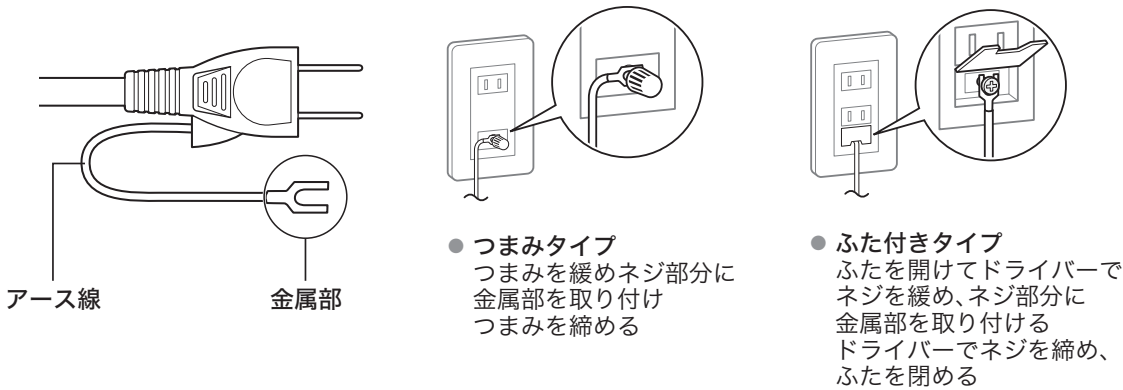
- 次のような水は、使わない
 - 濁りのひどい水・赤サビの多い水
(カートリッジの使用期間が短くなる原因)
 - ミネラルウォーター・浄水器・整水器を通した水
 - 井戸水
 - 水道水以外の飲み物

設置

- 次のような場所には、設置しない
 - 凍結の可能性がある場所
(カートリッジの割れなどの原因)
 - 油が付着しやすい場所
(本体のひび割れの原因)

アース

- アース線の取り付け方



- アースの端子がない場合

電源コンセントにアース端子がないときは、アース端子を取り付けするための工事が必要なため、電気工事店にご依頼ください。

次の場合は、電気工事士の資格のある者による、施工「D種接地工事」が法令で定められています。

- 湿気の多い場所
- 水けのある場所では、漏電遮断器を取り付ける(法令で規定されています)
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しない(法令で禁止されています)
- 設置場所の変更や転居のときも、アースを取り付ける

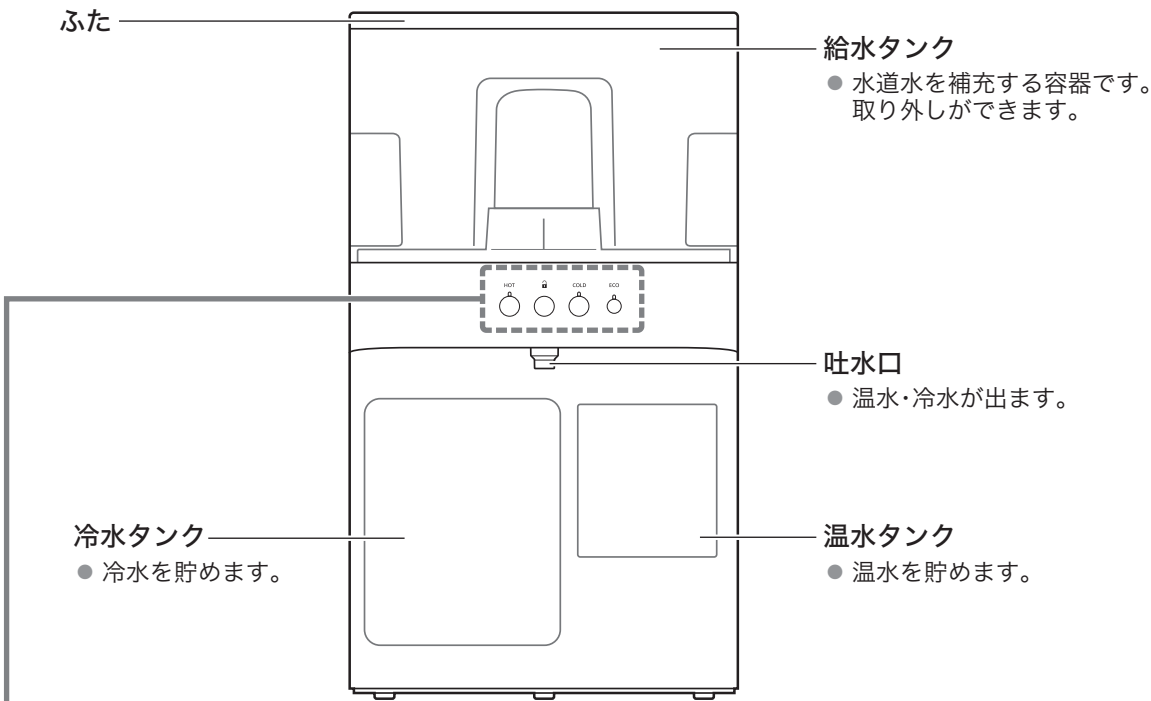
ご不明な点は、販売店または電気工事店にご相談ください。

使いかた

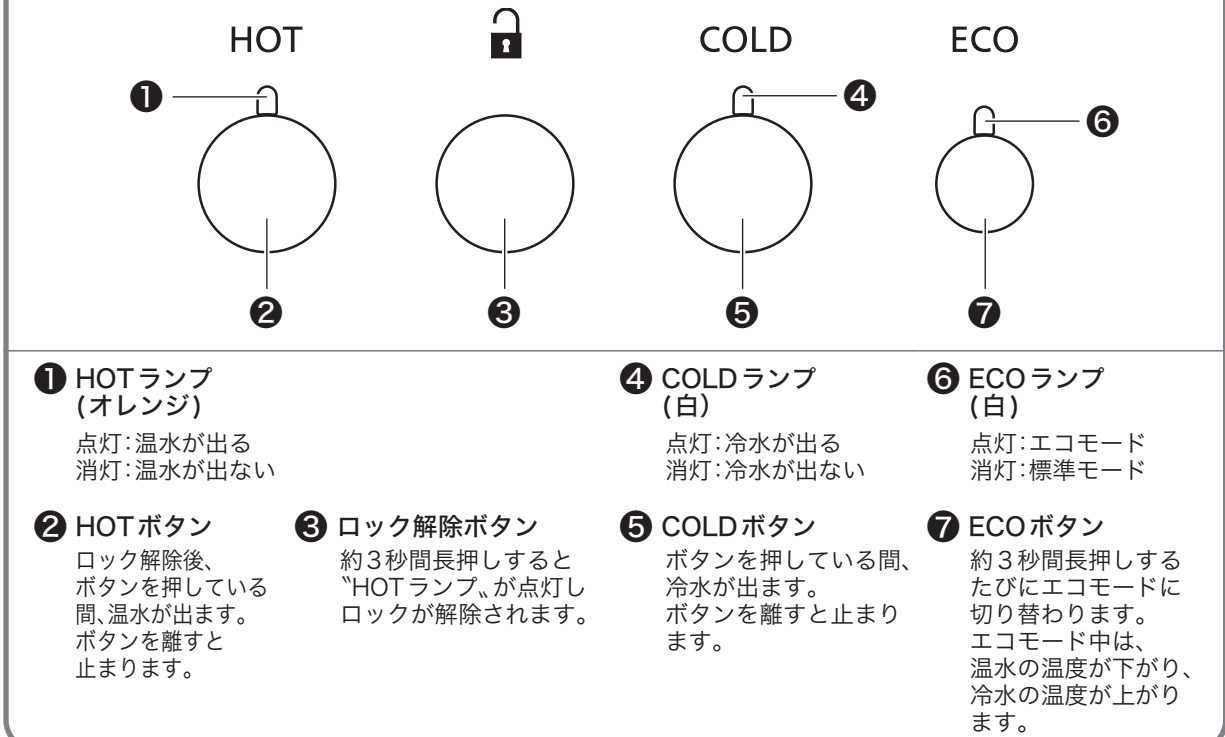
- 本体に寄りかかったり、倒したり、強い衝撃を与えない
(変形や破損による性能低下の原因)
- 本体を運ぶときは、45 度以上傾けない
- 給水タンクに 35℃ 以上の水道水を入れない
- 専用のカートリッジ (TK-RSS1C1) 以外は使用しない
- カートリッジを取り外した状態で使用しない
(故障の原因)
- 通常使用時は、電源プラグを挿したままにする
(水質変化による不快なおい原因)
- 給水タンクに強い衝撃を与えたり、落下させたりしない
(破損の原因)
- 給水タンクを空の状態で使用すると製品内部に
空気が混入し、水が出ない場合があります。
- 給水タンクのふたを開けっ放しにしない
(虫や異物の混入の原因)
- 日本国内専用のため、国外では使用できません。
- 交流 100 V 以外に電源プラグを差し込むと電源が
入らなくなります。
- 国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

各部のなまえとはたらき

本体前面



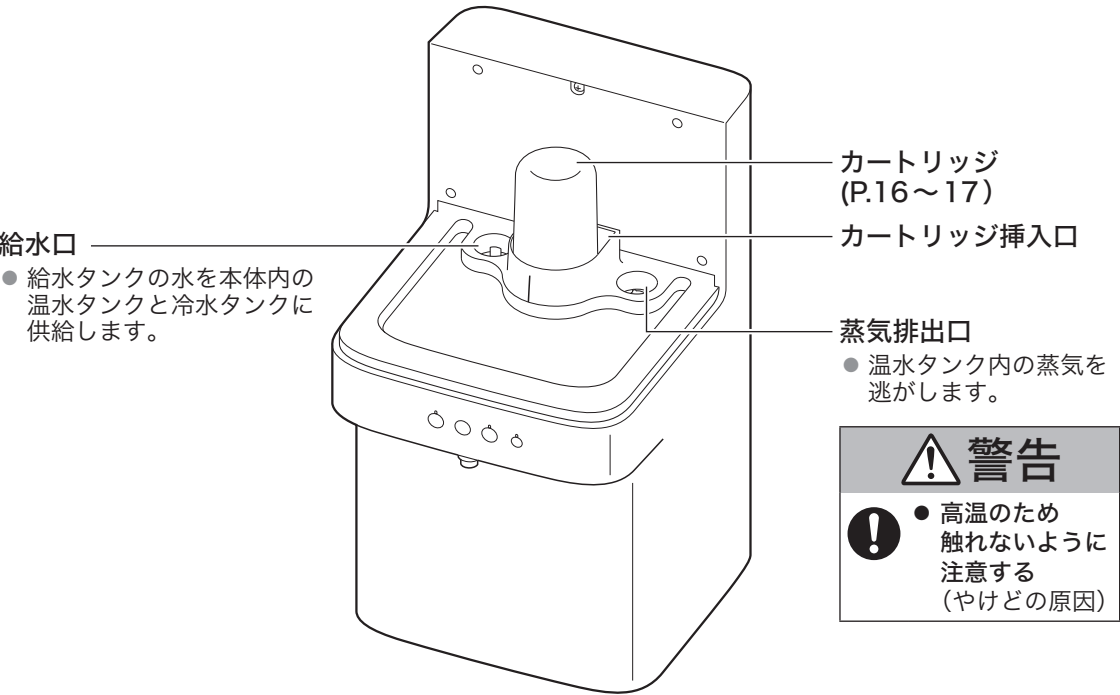
操作パネル



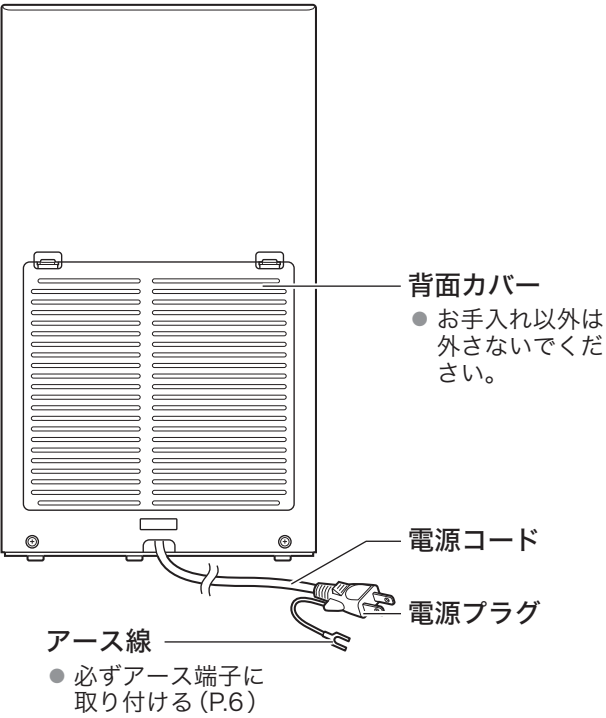
各部のなまえとはたらき (つづき)

本体

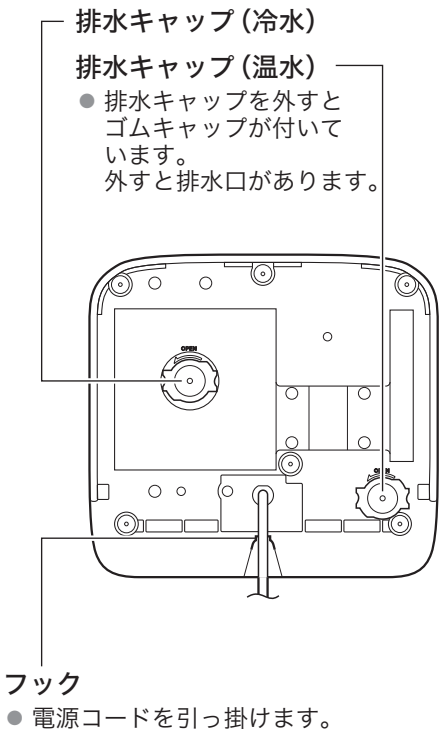
- 給水タンクを取り外した状態



- 背面



- 底面

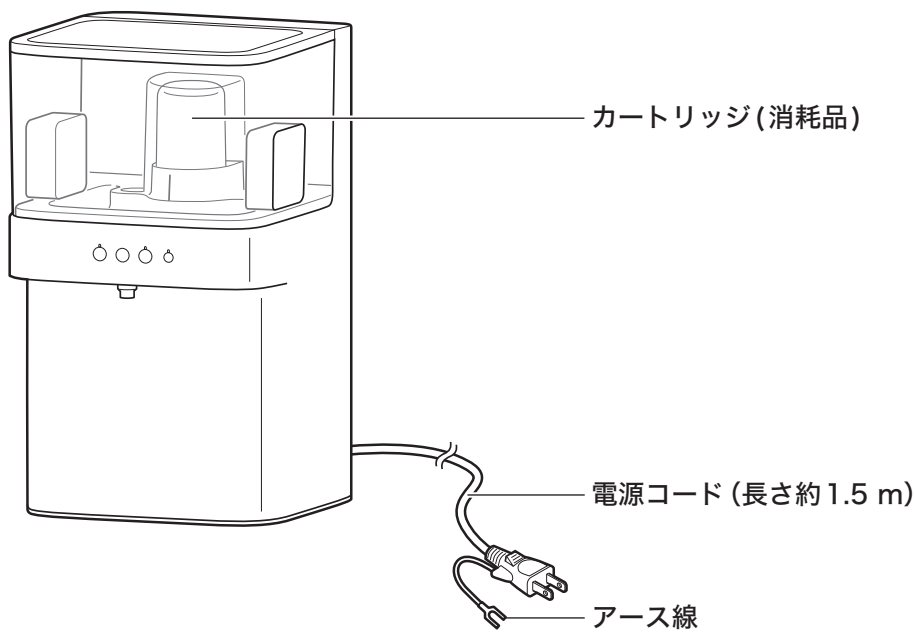


取付1 本体を確認する

不備な点がございましたら、カスタマーセンターまでお申しつけください。

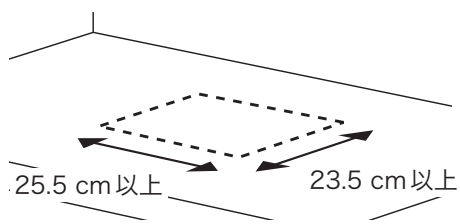
箱の中に入っているもの

■ 本体

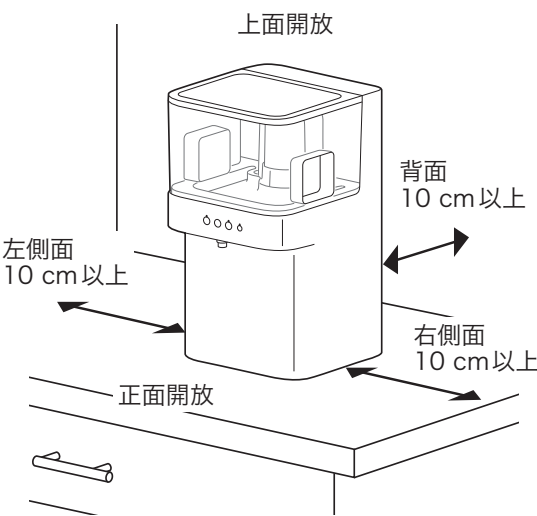


取付2 本体を設置する

1 平らで、安定した置き場所を選ぶ (本体の脚が設置できるスペース)



- 本体底面のフックに電源コードが引っ掛かっているか確認してください。
- 本体の排熱のため背面・両側面は、10 cm 以上離して設置する
- 本体の正面には物を置かない (置いた物の故障・破損の原因)
- においの強いものの近くに設置すると、水ににおいが移る可能性があります。 (芳香剤、洗剤、タバコ、線香など)



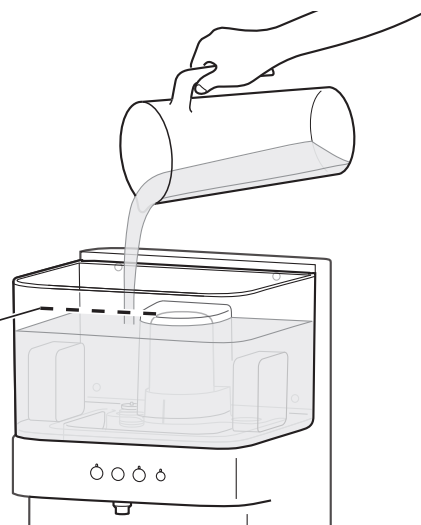
2 ふたを開けて 給水タンクに水を入れる

- ピッチャー等を使用して水道水を注いでください。

お願い

- 水を入れる前にタンクとふたを水道水でよくすすぎ、水気を拭き取ってください。(P.15)
- 水は、必ず水道水を使用してください。

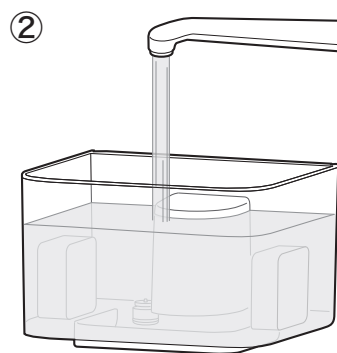
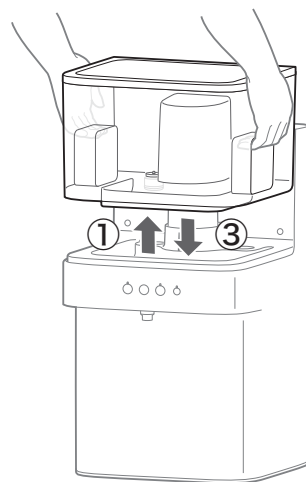
ここまで水を入れる
(カートリッジ上面まで)



3 ふたを閉める

直接水道水を入れることもできます。

- ① 給水タンクを取り外す
- ② ふたを開け、直接水道水を入れる
- ③ ふたを閉め、本体の溝に合わせて給水タンクをしっかりと下まで押し込んでください。

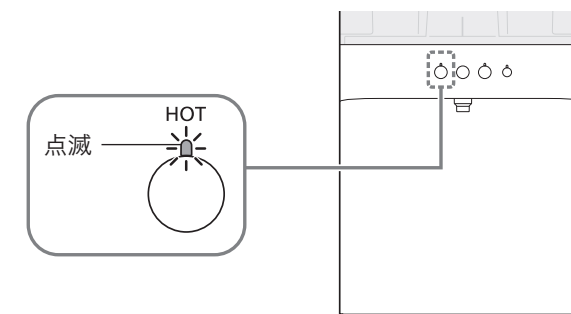


停電の復旧後・長期間使わず使用を再開するときも行ってください。

給水の準備 (初期設定時)

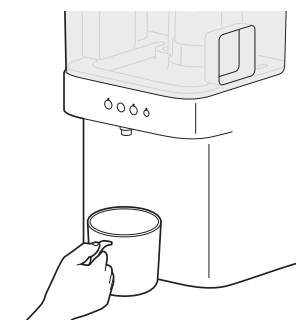
1 アース線を取り付け 電源プラグを差し込む

- アース線の取り付け方 (P.6)
- “HOT ランプ” が点滅する



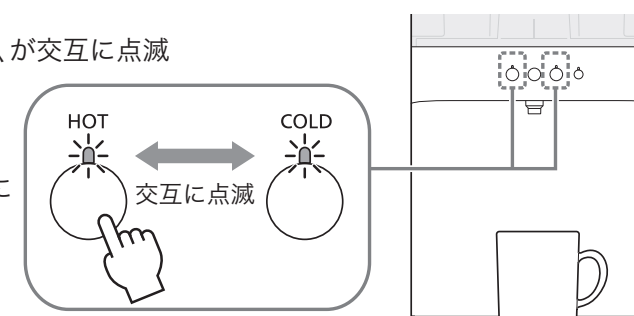
2 コップなどを置く

- 容量 200 cc 以上
- 初期設定時、水が出る可能性があります。



3 “HOT” ランプを 約3秒間長押しする

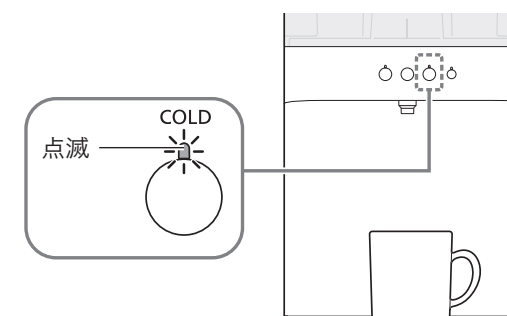
- “HOT ランプ” と “COLD ランプ” が交互に点滅
- 本体内蔵の温水タンクと冷水タンクに浄水が供給されます。(約3分間)
すでに温水タンクと冷水タンクに浄水が供給されている場合は、給水動作が省略され COLD ランプのみ点滅します。



お知らせ

- いずれかのボタンを押すと供給が中断され “HOT ランプ” が点滅します。再度 “HOT ボタン” を約3秒間長押しすると再開します。
- 駆動音がしますが、異常ではありません。

4 “HOT ランプ” と “COLD ランプ” の 交互の点滅が消灯し “COLD ランプ” のみ点滅する



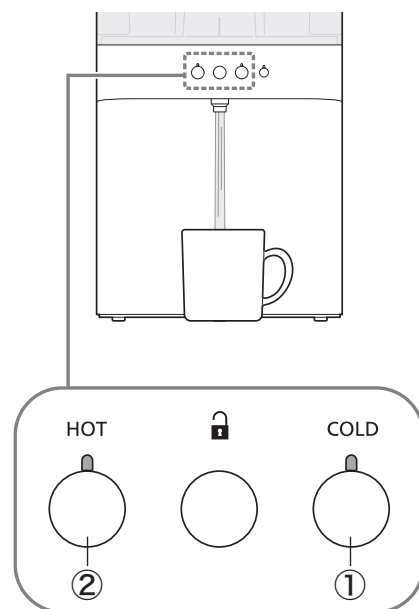
取付3 設置後の確認をする (つづき)

カートリッジの交換ごとに・長期間使わず使用を再開するときも行ってください。

吐水確認 (初期設定時)

1 本体内・カートリッジ内の空気を抜くため 水を捨てる

- ① “COLD ボタン”を押して水を捨てる
(コップ2～3杯分:0.5リットル)
 - 水を0.5リットル捨てると“COLD ランプ”が
消灯します。
- ② “HOT ランプ”が点滅したら
“HOT ボタン”を押して水を捨てる
(コップ1～2杯分:0.3リットル)
 - 水を0.3リットル捨てると“HOT ランプ”が
消灯します。
 - ボタンを押し続けると水が出て、ボタンを離すと
止まります。
 - 最初に水が出てくるまで時間がかかりますので
水が出てくるまで押し続けてください。
 - 水を出したとき“キュルキュル”音がしますが、
故障ではありません。(P.22)
 - 給水タンクの水が少なくなったら水を補充して
ください。(P.10)



2 “COLD ランプ”が点灯したら適温になるまで 約1時間 待機する

- 加熱と冷却が開始します。
- 温水 (80℃以上)、冷水 (10℃以下)
- 設置環境温度や水道水の温度によって、待機時間が延びる場合があります。

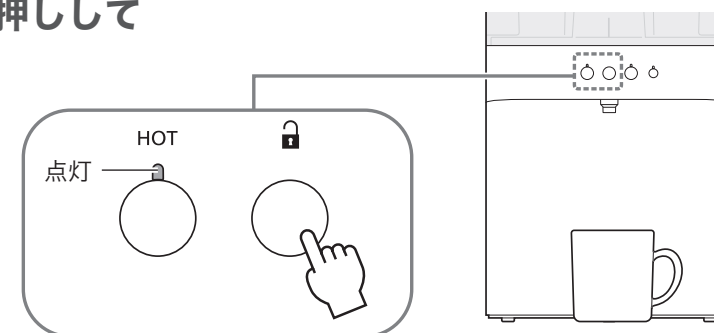
使いかた

電源プラグが差し込んであるかご確認ください。

温水の出しかた

1 “HOT ランプ”を約3秒間長押しして ロックを解除する

- “HOT ランプ”が点灯

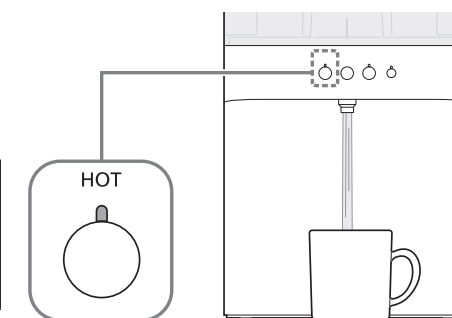


2 “HOT ランプ”を押し続ける

- ボタンを離すと温水が止まります。
- 温水を出し続けると、温度が下がります。
- 吐水停止後、約10秒間経過すると自動で
ロック状態になり“HOT ランプ”が消灯します。

警告

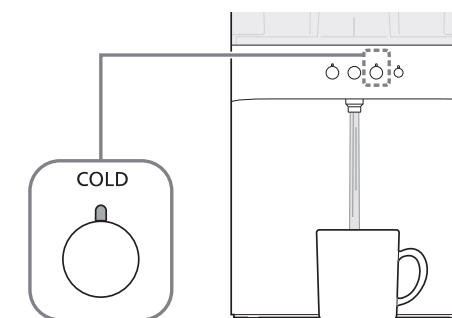
- 温水は、高温のため触れないように注意する
(やけどの原因)



冷水の出しかた

1 “COLD ランプ”を押し続ける

- ボタンを離すと冷水が止まります。
- 冷水を出し続けると、常温に近づきます。



お知らせ

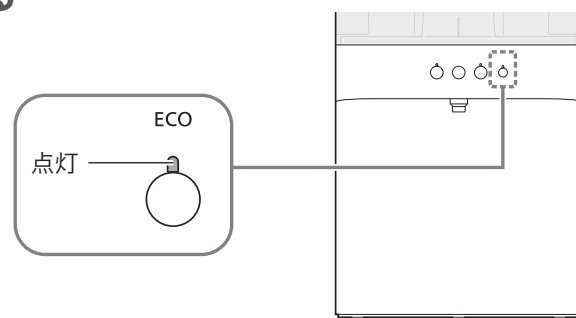
- 給水タンクの水の温度が上がることがあります。ふたに水滴がつくことがありますが、
異常ではありません。
- 給水タンクへの水の補充については (P.10)
空の状態からの水の補充は、適温になるまで約1時間待機が必要です。(P.12)
- 使用頻度が少なく給水タンクの水が減っていない場合でも、2～3日ごとに給水タンクの水
を入れ換えてください。
- 本体稼働時は、多少熱を持ちますが異常ではありません。

エコモードについて

エコモードにすると、消費電力を抑えることができ電気代の節約になります。
夜間や外出時の使用をおすすめします。

1 "ECO" を約3秒間長押しする

- "ECOランプ" が点灯
- エコモードを開始します。
温水: 65～75℃
冷水: 10℃～15℃



■ 解除のしかた

- "ECOボタン" を約3秒間長押しする
"ECOランプ" が消灯
約20分程度で標準モードの温度に戻ります。

お手入れ

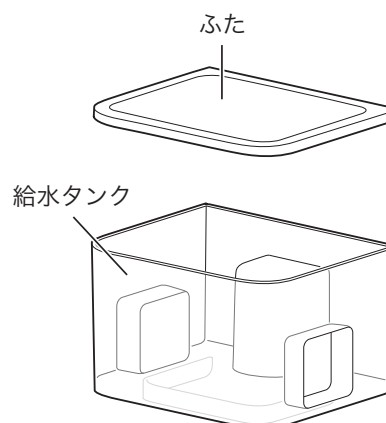
お手入れについてのお願い

- 洗剤・クレンザー・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油などは、使わないでください。間違えて使ったときは、すぐ水ぶきをし、表面の洗剤などを取り除いてください。(洗剤が吐水に混じったり、樹脂の割れ、印刷のはがれ、変色・変形の原因/クレンザー類を使うと故障の原因)
- 金属製のブラシなどは、使わないでください。(傷の原因)
- 本体に食品が触れた場合は、柔らかい布に水を含ませ、かたく絞って拭き取ってください。(カビの原因)



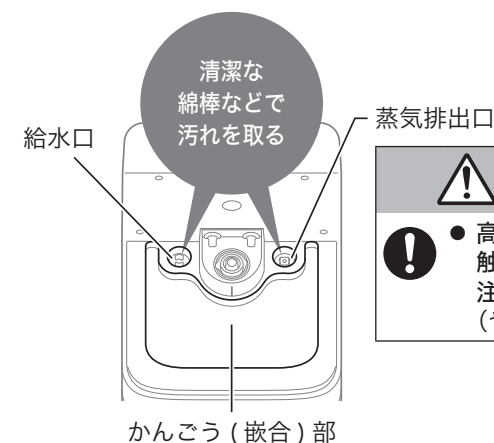
給水タンク・ふた

水道水で汚れを落としたあと、よくすすぎ、水気を拭き取ってください



かんごう(嵌合)部・給水口・蒸気排出口

清潔な布かキッチンペーパーなどで水気や汚れを拭き取ってください



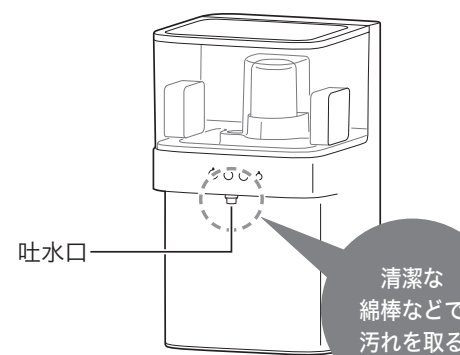
3日に1回以上

警告

- 高温のため触れないように注意する(やけどの原因)

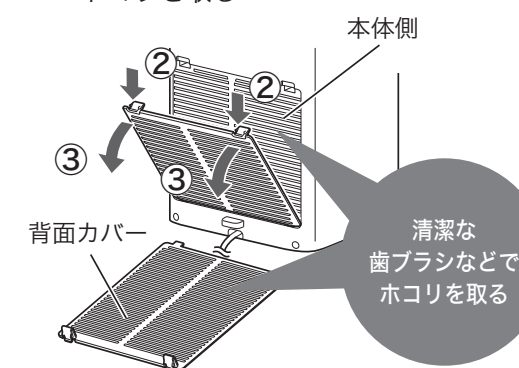
本体・吐水口

柔らかい布に水を含ませ、かたく絞ってふく



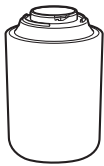
背面カバー

- ① 電源プラグを抜く
- ② 押しながら
- ③ 手前に引く
- ④ 背面カバーと本体側のホコリを取る



1週間に1回以上

カートリッジの交換



交換用カートリッジ
品番：TK-RSS1C1
(P.25)

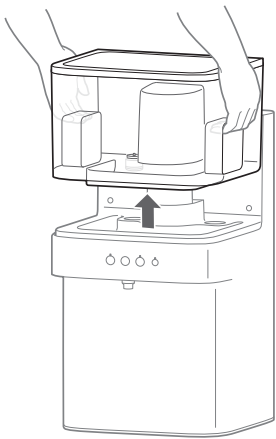
交換のしかた

カートリッジは、1年に1度お届けいたします。
届きましたら、カートリッジ交換を行ってください。



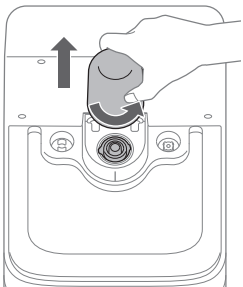
- 適切な浄水能力を維持するため、お届けしたカートリッジは必ずその都度交換してください。
- 使用済みのカートリッジは、地域で定められた条例に従って廃棄してください。
(カートリッジのケースはABS樹脂製、中身は→P.25「仕様」の「ろ材の種類」)

1 給水タンクを外す



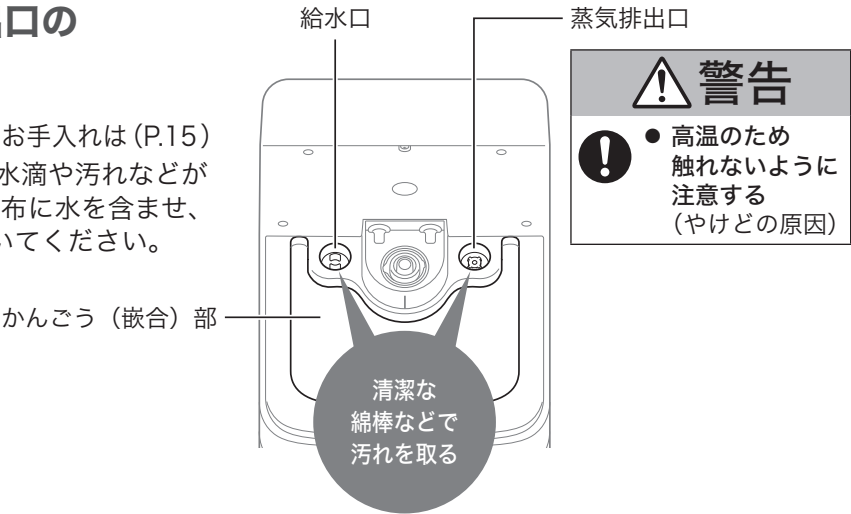
2 カートリッジを外す

- ① 止まるまで回す
- ② 引き抜く
 - カートリッジからの水に注意してください。



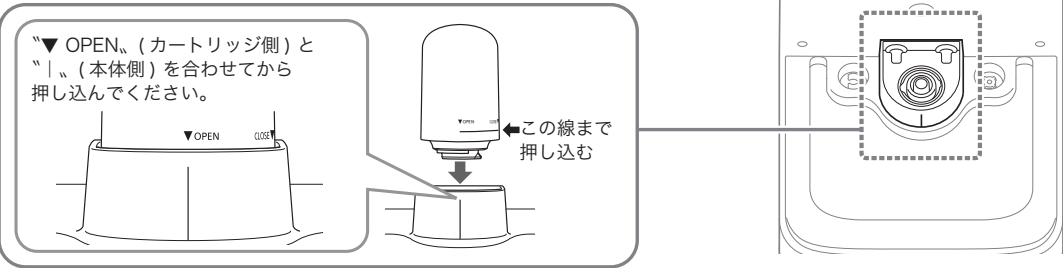
3 給水口・蒸気排出口のお手入れをする

- 給水口と蒸気排出口のお手入れは (P.15)
- かんごう（嵌合）部に水滴や汚れなどがある場合は、柔らかい布に水を含ませ、かたく絞ってからふいてください。

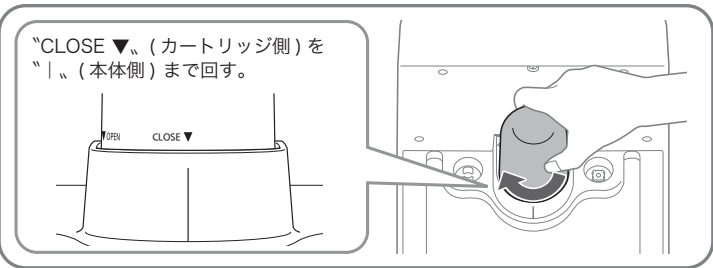


4 新しいカートリッジを取り付ける

① カートリッジをまっすぐ押し込む



- ② 止まるまで回す
 - カートリッジは、締めすぎないでください。
(カートリッジが破損し、水漏れの原因)



5 給水タンクを取り付ける

- 水が足りない場合は、補充してください。(P.10)

6 吐水確認をする (P.12)

停電したとき

■ 停電のとき (ブレーカーが作動した / 電源プラグを抜いたときも)

- 使えません。
- 復旧後、初めて使うときは、「給水の準備」(P.11)を行ってからお使いください。

長期間使わないとき

■ 2～3日以上使用しない場合

- ① 給水タンクの水を捨てる

■ 約1週間以上使用しない場合

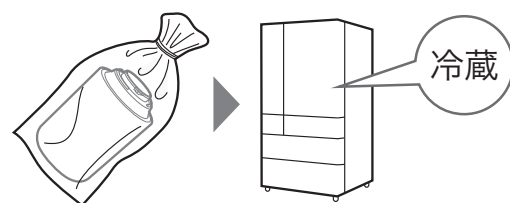
- ① 給水タンクの水を捨てる
- ② 電源プラグを抜く
- ③ カートリッジを外し (P.16) ビニール袋に密封して冷蔵庫に保管する
 - ビニール袋の空気を抜いて、口を閉じる

お知らせ

- 長期間カートリッジを保管するとカートリッジ内の水が変質することがありますので、カートリッジの交換をおすすめします。
- 定期的にお送りするカートリッジ以外に追加でカートリッジが必要な場合は、ご購入が必要です。(P.24)

■ 使用を再開するとき

- ① カートリッジが取り付けにあるか確認し、取り付けしていない場合は、カートリッジを取り付ける (P.17)
- ② 給水タンクに水を補充し、ふたを閉める (P.10)
- ③ 電源プラグを差し込む
- ④ 給水の準備 (P.11) をする
- ⑤ 温水・冷水ともにコップ各5～6杯分 (約1.2リットル) の水を捨てる
 - 吐水すると水が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- ⑥ 水漏れがないこと、動作やランプ表示に異常がないことを確認する



返却するとき

下記の手順を行ってから、返却してください。

1 給水タンクに水を入れてから 温水を捨てる

(コップ5～6杯分)

温水の出し方は (P.13)

- 熱いお湯が出るため、やけどにご注意ください。

2 給水タンクを外して 水を捨てる

3 カートリッジを外す (P.16)

- カートリッジは、廃棄してください。

4 電源プラグとアース線を外す

- 温水が冷めるまで3時間程度お待ちください。(やけどの原因)

5 本体を台所のシンクなど 排水ができるところへ 移動する

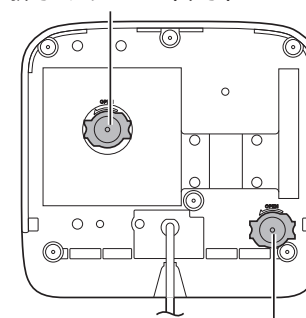
6 本体底面にある 2か所の排水キャップと ゴムキャップを外して水が 出なくなるまで排水する

① 排水キャップを外す

② ゴムキャップを外す

- 勢いよく水が出ますのでご注意ください。
- 水が止まったらゴムキャップと排水キャップをしっかり締めてください。
- 排水キャップとゴムキャップは捨てたり、紛失したりしないようご注意ください。

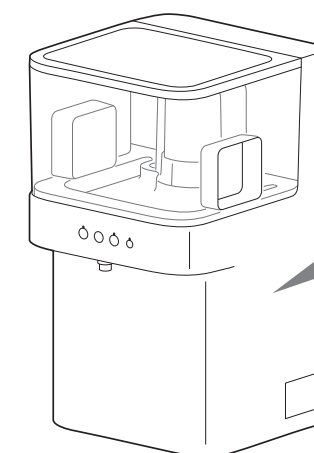
① 排水キャップ (冷水)



排水キャップ (温水)

7 給水タンクを取り付ける (P.10)

8 本体の水気を拭き取る

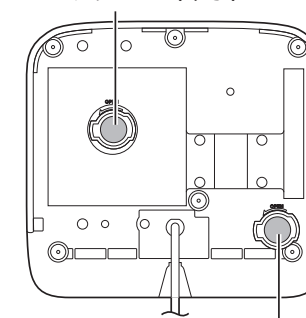


柔らかい布に
水を含ませ、
かたく絞って
ふく

お願い

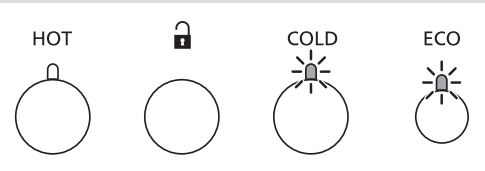
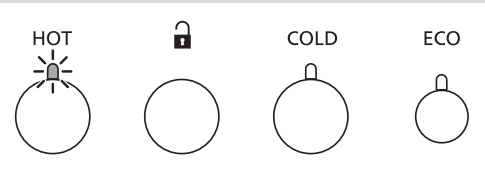
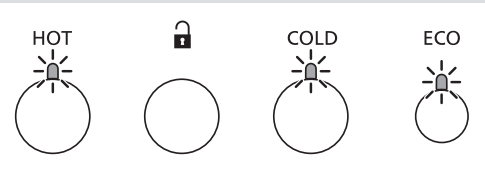
- 本体から水が漏れる場合がありますのでポリ袋に本体を入れてから梱包してください。
- 使用済みのカートリッジは、地域で定められた条例に従って廃棄してください。

② ゴムキャップ (冷水)



ゴムキャップ (温水)

こんなランプ表示のときには

表示	原因とご対応いただく内容
“COLDランプ”・“ECOランプ”が同時に点滅 	水が冷えにくくなっています。(冷却不良) ● 直射日光の当たる場所や高温になる場所に設置している場合は設置場所を見直してください。(P.9) ● 背面カバーのお手入れを行ってください。(P.15) 以上の内容に対応したあと、電源プラグを一度抜き、再度差し込んでください。
“HOTランプ”が点滅 	初期設定時になっています。 → 給水の準備 (P.11)、吐水確認 (P.12) を行ってください。
“HOTランプ”・“COLDランプ”・“ECOランプ”が同時に点滅 	本体の故障です。 → 電源プラグを抜いて、カスタマーセンターに連絡してください。

よくあるご質問

ご質問		回答
準備	設置場所はどこが良いですか？	水平で安定したところかつ、電源・アース端子が確保できる場所をお願いします。 また、屋外や温度が高くなる場所、不衛生な場所や熱源に近いところ、直射日光が当たる場所は避けてください。
	アースは必要？	アースは確実に取り付けてください。(P.6) 電源コンセントにアース端子がないときは、アース工事が必要です。 特に、湿気の多い場所や水けのある場所では、アース工事が法令で定められています。(P.6) アース端子がない場合、電気工事店にご相談ください。
水道水	地下水や井戸水も使えるの？	飲用に合格した水道水のみ、お使いいただけます。
	お湯は何℃まで使えるの？	給水タンクに補充する水は35℃未満までお使いいただけます。
	給水タンクの水はどのくらいで使い切れれば良いの？	2～3日を目安に使い切ってください。
浄水	浄水はどのくらい日持ちするの？	1日以内にお使いください。 水道水中の塩素(殺菌剤)が除去されているため、一般細菌が増えやすくなっています。 ● 冷蔵庫保存する場合は、清潔な密閉容器に入れて2日以内にお使いください。
その他	やかんやジャーポットなどに白い粉がつく	水中のカルシウムが固まったものです。 飲んでも問題ありませんが、気になる場合は容器を洗ってください。 ● 洗ってもとれない場合は、クエン酸を1リットルの水に約50gの割合で溶かし、2～3日つけたあと、水洗いしてください。 (クエン酸は、薬局でお求めください)
	引っ越しするけど本体はどうしたらよいの？	P.19の手順を行ってください。 ご使用のカートリッジは、引っ越しのあとも使用できますので廃棄しないでください。 引っ越しのあと、速やかに CLUB Panasonic 会員の登録情報を変更してください。

交換を依頼される前に

まず、P22～23をご確認ください。
以下の内容を確認しても直らないときは
電源プラグを抜いて、カスタマーセンターにご連絡ください。

こんなときは		ここを確認してください
ランプ	ランプが全く点灯しない	●電源プラグが抜けていませんか？ → 電源プラグを差して、給水の準備・吐水確認を行ってください（P.11～12）
	温水、冷水が出ない	●電源プラグが抜けていませんか？ → 電源プラグを差して、給水の準備・吐水確認を行ってください（P.11～12） ●給水タンクが空になっていませんか？残水量が少なくなっていますか？ → 給水タンクに水を補充する（P.10） ●温水の場合、ロック解除を忘れていませんか？ → ロック解除ボタンを押してロック解除してください。（P.13） ●ランプが点滅していませんか？ → 「こんなランプ表示のときには」（P.20）を確認してご対応ください。 ●カートリッジの交換時期が過ぎていませんか？ → カートリッジを交換してください。（P.15～16） ●カートリッジは取り付けられていますか？ → カートリッジを取り付けてください。（P.15～16）
吐水口	温水・冷水の出る量が少ない	●給水タンクの残水量が少なくなっていますか？ → 給水タンクに水を補充してください（P.10）
	カートリッジ交換後 温水・冷水の出る量が少なくなった	●交換後、本体内の空気を抜くため吐水確認を行いましたか？（P.12）
	温水が熱くならない	●電源プラグが抜けていませんか？ → 電源プラグを差して、給水の準備・吐水確認を行ってください（P.11～12） ●連続で大量に水を出していませんか？ → 温水温度が下がります。 約1時間程度お待ちいただいてからお使いください。 ●エコモードになっていませんか？ → エコモードを解除し、約20分程度お待ちください。（P.14） 以上の内容を確認しても直らないときは、加熱機能が作動していない可能性があります。カスタマーセンターに連絡してください。
	水を出したとき “キュルキュル”音がする	●蒸気排出口から空気が抜けている音です。 → 故障ではありません。

こんなときは		ここを確認してください
吐水口	冷水が冷えない	●電源プラグが抜けていませんか？ → 電源プラグを差して、給水の準備・吐水確認を行ってください（P.11～12） ●連続で大量に水を出していませんか？ → 冷水温度が上がります。 約1時間程度お待ちいただいてからお使いください。 ●環境温度が高い場所に設置していませんか？ （ストーブやガス機器の近くや直射日光が当たる場所） → 涼しい場所に移動してください。 ●本体の側面・背面の通気が悪くなるような場所に設置していませんか？ → 本体の正面は開放し、上面は開放、側面・背面は10 cm以上スペースを空けてください。（P.9） ●エコモードになっていませんか？ → エコモードを解除し、約20分程度お待ちください。（P.14） ●背面カバーが汚れていませんか？ → お手入れする（P.15） 以上の内容を確認しても直らないときは、冷却機能が作動していない可能性があります。カスタマーセンターに連絡してください。
	給水部	●本体と給水タンクの間にゆるんでいませんか？ → 給水タンクをセットし直してください。（P.10） それでも水漏れがある場合は、カスタマーセンターにお問い合わせください。
水漏れ	本体底部	●排水キャップがゆるんでいませんか？ → キャップを締め直してください
	本体内部・吐水口	→ カスタマーセンターにお問い合わせください。
におい・味・濁り・変色など	におい・いやな味・濁りがある	●カートリッジの浄水能力が低下しています。 → カートリッジを交換する（P.15～16） カートリッジを交換してもにおい・いやな味がする場合はカスタマーセンターにご連絡ください。
	浄水が光って見える 白い浮遊物が見える	●水に溶けている成分（主にミネラル分）が浮遊したものです。 → そのままお使いいただき、問題ありません。
その他	本体が熱い	●稼働中、本体が多少熱を持ちますが異常ではありません。

必要なとき

別売品

	品 名	品 番	備 考
消耗品	交換用カートリッジ	TK-RSS1C1	—

別売品はパナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけます。

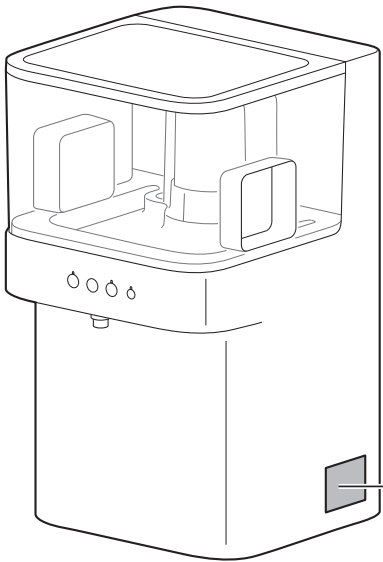
カートリッジは購入できますが、購入されなくても1年に1回定期的にお届けします。

パナソニックの公式通販サイト

<https://panasonic.jp/store/>



個体管理番号の表示位置



個体管理番号はこの位置に表示しています。

仕様

寸法(幅×奥行×高さ)	約255 mm×約280 mm×約450 mm																																						
質量	約6.5 kg (給水タンク4 L時:約12.5 kg)																																						
定格	交流100 V 50-60 Hz																																						
消費電力	最大消費電力:295 W (待機時:約0.5 W) 温水ブロック:208 W 冷水ブロック:98 W																																						
温度範囲	標準モード:温水 80℃以上、冷水 10℃以下 エコモード:温水 65℃～75℃、冷水 10℃～15℃																																						
本体使用水温	35℃未満																																						
ろ過容量(タンク容量)	温水:約1.0 L、冷水:約0.9 L、(原水:4 L)																																						
吐水流量(初期値)	1.0 L/分以上																																						
ろ過流量	1.0 L/分																																						
カートリッジ	TK-RSS1C1																																						
浄水能力	<table><tr><td>遊離残留塩素</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)</td></tr><tr><td>濁り</td><td>(総ろ過水量:2 000 L ろ過流量:50 % JIS S 3201 試験結果)</td></tr><tr><td>クロロホルム</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)</td></tr><tr><td>総トリハロメタン</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)</td></tr><tr><td>ブロモジクロロメタン</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)</td></tr><tr><td>ジブロモクロロメタン</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)</td></tr><tr><td>ブロモホルム</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)</td></tr><tr><td>テトラクロロエチレン</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)</td></tr><tr><td>トリクロロエチレン</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)</td></tr><tr><td>CAT (農薬)</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)</td></tr><tr><td>2-MIB (カビ臭)</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)</td></tr><tr><td>溶解性鉛</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)</td></tr><tr><td>1,2-DCE (※2)</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)</td></tr><tr><td>ベンゼン</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)</td></tr><tr><td>ジオスミン (カビ臭)</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)</td></tr><tr><td>フェノール類</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)</td></tr><tr><td>PFOSおよびPFOA (※3)</td><td>(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JWPAS B 試験結果)</td></tr><tr><td>鉄 (微粒子状)</td><td>(除去率:80 % JWPAS B 試験結果)</td></tr><tr><td>アルミニウム (中性)</td><td>(除去率:80 % JWPAS B 試験結果)</td></tr></table>	遊離残留塩素	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)	濁り	(総ろ過水量:2 000 L ろ過流量:50 % JIS S 3201 試験結果)	クロロホルム	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)	総トリハロメタン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)	ブロモジクロロメタン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)	ジブロモクロロメタン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)	ブロモホルム	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)	テトラクロロエチレン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)	トリクロロエチレン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)	CAT (農薬)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)	2-MIB (カビ臭)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)	溶解性鉛	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)	1,2-DCE (※2)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)	ベンゼン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)	ジオスミン (カビ臭)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)	フェノール類	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)	PFOSおよびPFOA (※3)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JWPAS B 試験結果)	鉄 (微粒子状)	(除去率:80 % JWPAS B 試験結果)	アルミニウム (中性)	(除去率:80 % JWPAS B 試験結果)
遊離残留塩素	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)																																						
濁り	(総ろ過水量:2 000 L ろ過流量:50 % JIS S 3201 試験結果)																																						
クロロホルム	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)																																						
総トリハロメタン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)																																						
ブロモジクロロメタン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)																																						
ジブロモクロロメタン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)																																						
ブロモホルム	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)																																						
テトラクロロエチレン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)																																						
トリクロロエチレン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)																																						
CAT (農薬)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)																																						
2-MIB (カビ臭)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)																																						
溶解性鉛	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)																																						
1,2-DCE (※2)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)																																						
ベンゼン	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 附属書A 試験結果)																																						
ジオスミン (カビ臭)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)																																						
フェノール類	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JIS S 3201 試験結果)																																						
PFOSおよびPFOA (※3)	(総ろ過水量:2 000 L 除去率:80 % JWPAS B 試験結果)																																						
鉄 (微粒子状)	(除去率:80 % JWPAS B 試験結果)																																						
アルミニウム (中性)	(除去率:80 % JWPAS B 試験結果)																																						
ろ材(カートリッジ)の取替(交換)時期の目安	約1年(1日5 L使用時)(※1)																																						
材料の種類	ABS樹脂																																						
ろ材の種類	不織布・活性炭・セラミック・中空糸膜																																						
除去できない物質	水中に溶け込んでいる鉄分・重金属類(銀・銅など)や塩分(海水)																																						

● 数値は水温20℃時の値です。

● 硬水を軟水に変えることはできません。

● 水を沸騰させる機器ではありません。

(※1) 除去対象物質、使用水量・水質・水温等により大幅に異なります。

(※2) シス-1,2-ジクロロエチレンおよびトランス-1,2-ジクロロエチレンの略称

(※3) ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)およびペルフルオロオクタン酸(PFOA)の略称です。

必要
な
と
き

お問い合わせ先

パナソニック ストア プラス 定額利用サービス カスタマーセンター

 **0120-878-131**

受付時間: 10:00~18:00
(土日祝日・年末年始除く)

お電話以外の問合せ方法や
契約に関するFAQはこちら



パナソニック マーケティング ジャパン株式会社

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 ビューティ・パーソナルケア事業部

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2026

ZGS0TKRSS10Z Y1026-0